

いま
風 水曜日

きれい

KIREI



まずは小物からでも

バッグやストールなどの小物も、ボタニカル柄のものが数多く出ている。「服はハードルが高いという人は、まずは小物から取り入れてみるのもいいですね」とみなみさん。

写真のバッグはすべてみなみさんの私物。ペーパー地に白い花模様が編み込まれた麦わらのバッグは、素材感も夏にぴったりだ。

ボタニカル柄の服に別のボタニカル柄のバッグやストールを合わせるのは避けたい。「無地の服に合わせれば、柄が映えますね。また、ボタニカル柄は自然を表現しているので、コットンやリネンなど自然素材の服と特に相性がいいですよ」



パンツはすそを折り返すとすっきりとする。アクセサリーや帽子で視線を散らす工夫も



落ち着いた色のスカートに無地のブラウスとジヤケットを合わせれば、オフィススタイルにも



カラフルなパンツに、この夏人気の丈の短いニットを合わせた。緑のニットのすそに白いシャツがついているよう

く、大人っぽさやナチュラルな雰囲気も出せるのが魅力。個人客にファッショニングをアドバイスするパーソナルスタイルリストのみなみ佳菜さんは、顧客の女性たちから「大胆な柄が多くて、着こなせること配」と相談されるという。

「確かにボタニカル柄は、インパクトの強いものが多いので、特に顔に近いシャツやブラウスに取り入れると、柄が目立ちすぎることがあります。でもちょっとした工夫で着こなせますよ」

ワンピースの着こなしを見せてもらった。

「ボタニカル柄」着こなせる

植物を描いた「ボタニカル柄」の服が流行している。大きめの柄が多いため、服の印象が強くなってしまうがち。「柄の面積を減らす」「小物で視線を散らす」などの工夫で着こなせるという。(生活部 森谷直子)

2014春夏コレクションで、多くのファッショニングブランドが取り入れたことから、この春以降、ボタニカル柄の服が数多く出ている。花だけではなく草や葉、実などを描く花柄のかわいらしさだけでな

2014春夏コレクションナビゲーター「女」みなみ佳菜さん

で、多くのコツは、面積を減らすこと。ベルトでワンピースをたくし上げ、薄手の赤いカーディガンを羽織ること。服の柄だけでなく、アクセサリーにも目が向くようになる。

次に、ボタニカル柄のブラウスと、やはり流行的なタイトスカートの組み合わせ。ブラウスはなるべく纖細な柄を選ぶ。そこで折り返したり、襟元のボタンを開けたりして、面積を減らす。

パンツやスカートは、顔から距離があるので、目立つ柄でも比較的取り入れやすい。

そこで、「一つ目のコツは、面積を減らす」とこと。ベルトで、大きな柄の存在感は十分ある。まると、かなり目立つ。

そこで、「一つ目のコツは、面積を減らす」とこと。ベルトで、ハンバーグをたくし上げ、薄手の赤いカーディガンを羽織ると、柄部分がかなり小さくなつた。面積が小さくても、大きな柄の存在感は十分あ



ボタニカル柄のブラウスに寒色系のタイトスカートを合わせ、きちんとした雰囲気になれる。



ボタニカル柄のストールも様々なものがある

洋室に溶け込む仏壇

日本家屋には和室があるのが一般的だったが、最近は和室のない住宅が増えている。しかし、人の命には限りがあり、そのうち必ず祈りの空間が必要となる。家を買った時には思い至らなかつた、という家庭もある。

このような背景もあってか、現在東京で販売される仏壇の約半数は、洋室向けのシンプルな「家具調」タイプだという。インテリーターや、仏具にも家具調

私空間



が求められる。

「仏具のデザイン研究所」は、仏具専門メーカーの「本保」(富山県)が、現代のライフスタイルに合う仏具を考案するため発足させた。デザイナー、プロデューサー、アートディレクター、仏具販売を手掛ける人などが集まり、仏壇・仏具の歴史を学び、暮らしに溶け込むデザインの研究を行っている。今年6月にインテリアの展示会で新たな仏具写真を発表したところ、その美しさと使いやすさに注目が集まった。

本来、仏壇は仏教寺院で本尊をまつるためのもの。家庭に安置するのは、日本独特の風習だという。日本人が先祖を敬い、亡くなった人が先祖を敬い、亡くした人をしのぶ気持ちを大切にしてきたことの表れかもしれない。

リビングに置いて違和感のない仏壇や仏具があれば、家族全員が故人を感じられる空間を作り出せるのではないか。インテリアコーディネーター、「インテリアコーディネーター」

5年前、この欄で男も日傘を愛用すべきだ、と書いた。いくつか賛同の意見をいただが、あれから日傘をさしていた。何かと思えば男性が増えたという印象はある。確かにハンカチをあまり見つけないが、なぜか他のものは気になる。日差しが強い夏や雨の日になると、その人の顔や服は傘の陰に隠れたりするからだろ

う。もっぱら機能性を重視して使っているわけだが、傘を見回すと様々なデザインの傘が増えていて、それはそれで楽しい。自分がさす傘は色柄など意識しないが、なぜか他の人のものは気になる。日差しの強い夏や雨の日になると、その人の顔や服は傘の陰に隠れたりするからだろ

藤原智美



Spice スパイズ

5年前、この欄で男も日傘を愛用すべきだ、と書いた。いくつか賛同の意見をいただが、あれから日傘をさしていた。何かと思えば男性が増えたという印象はある。確かにハンカチをあまり見つけないが、なぜか他のものは気になる。日差しが強い夏や雨の日になると、その人の顔や服は傘の陰に隠れたりするからだろ

う。もっぱら機能性を重視して使っているわけだが、傘を見回すと様々なデザインの傘が増えていて、それはそれで楽しい。自分がさす傘は色柄など意識しないが、なぜか他の人のものは気になる。日差しの強い夏や雨の日になると、その人の顔や服は傘の陰に隠れたりするからだろ

金の専門店に大行列

が、傘はあくまで日差しよけ、あるいはぬれないので、それがどうでもいい装い方かもしれない。なにしろ昨今の日差しは尋常ではない。唐突に土砂降りに見舞われたり、傘をさす機会はいちだんと多くなつていて、どうだ。

先日、東京の自由が丘を散歩中、通りに長い行列ができる。何かと思えば、傘屋さんである。どんなもないほどの安売りでもやっているのを見て、傘をさす機会はいちだんと多い。確かにハンカチをあわせて、まぶしそうにしながら街をゆく会社員とおばしゃぎ男性の姿に見えた。思わず日傘を勧めたくなる。

私は日傘は折りたたみ式、雨傘は透明のビニール傘を愛用している。折りたたみ式は携帯に便利だし、透明な傘は前方がよく見えて歩きやすい。もちろん傘を伸ばしても、傘をゆく会社員とおばしゃぎ男性の姿に見えた。思わず日傘を勧めたくなる。

私は日傘は折りたたみ式、雨傘は透明のビニール傘を愛用している。折りたたみ式は、傘屋をそられたが強い日差しの中、並んで待つのはしんどいのであきらめた。しかし幸い、駅のホームからガラス張りの店内がのぞけた。1階から2階、3階へとつなげ段には身動きができないほど、人が並んでいた。店には連日客が押し寄せているらしい。傘もファッショショーンの一部となりつつあるのか。それとも傘のコレクターがたくさんいるのか。答えは今のところ不明。